

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いいたします。手紙かハガキがファクスで送って下さい。

自分にできる所から
住みよい街へ行動を
(夕風・山本62歳)

私は長年、建設関係の仕事に携わっていましたが、体を壊して入院し、昨夏退院しました。その頃から港区のことが色々と気になり出しました。少してでも住みよい街に「とでできる所から行動を始めています。健康のため通っている大阪プールでは、側溝の詰まり、ろ過装置の不調などが気になったので、市議員に視察してもらい、今年一月、滑りやすかったプールサイドの床が改良されました。その他、公園で犬を放し飼いする人や糞を処理しない人、野良猫に餌をやり続ける人、禁

止区域でスケボーをする若者なども気になり、直接処理したり、声をかけたり、議員に相談したりして、す。なかなか改善されず、時には注意した相手と喧嘩になることもあり、これからは注意した相手と喧嘩を控えるつもりです。皆さんも自分のできる所から行動してみたいかがでしょうか。

忘れるな！
(池島・勝部泰臣77歳)

原爆について語る人が少なくなつた今、医師で作家の加賀之彦氏の「平和を語る」(M紙夕刊)は目を引いた。七歳児の長崎被爆死の脳を見て「延々と続く廃墟のよう」かくも原爆は凄ま

振り返っていました。初参加の金子健太郎君(八幡屋小一年)もポケモンの図柄、子ども会で一週間前に作りましたが、パラスを考えながら骨や糸をす」と話していました。

「書を通じて地域のふれあいを」と二月二日朝、三先の天満宮(旧三先天満宮)で「書き初め・書道展」が開催され、三先・池島地域を中心に区内外から数十人が参加しました。天満宮奉賛会(貴田太五会長)が呼びかける正月恒例の行事で六回目。

真剣に筆動かす子
三先小と池島小の児童が授業で書いた「希望」の筆文字が何枚も展示され、清々しい墨の匂いが立ち込める社殿の大広間。十時過ぎ、瀬戸マヨ子さんが撮影

「冬休みの宿題を片付けたり、和紙が破れないように色を塗るのが難しかった。」「一年の抱負を筆で」という女性、「(この行事を伝える)港新聞を見て」という人たちなど、参加者は例年を上回り、筆が足りずにスタッフを慌てさせる一幕も。最年少は三歳の浅山莉子ちゃん(山下混入君(共に三先))。地域のみなさんに見守られながら、小さな手で筆を動かしていました。

こうして次々と書き上げられた書の一部は、一般の参詣者が「良縁」「家内安全」などと筆書きしたものや合せて、神前に奉納されました。

世話役の一人、瀬戸信行さん(池島2)は「緊張した面持ちで筆を走らせる家族を見てると、心が温まります。児童が書いたように、今年が「希望」の持てる年であることを願っています」と話していました。

「人生劇場」楽しみ
(田中2・67歳女性)

川島恵美子先生の「人生劇場」(6面)を楽しみにしています。平成六年ころ港近隣センター絵画教室で教えて頂き、その後は仕事の関係で通えなくなり、先生の話が、先生の描かれる風景画は素晴らしい、今でも大好きです。お元気でこれからは描いて下さい。

「人生劇場」楽しみ
(田中2・67歳女性)

川島恵美子先生の「人生劇場」(6面)を楽しみにしています。平成六年ころ港近隣センター絵画教室で教えて頂き、その後は仕事の関係で通えなくなり、先生の話が、先生の描かれる風景画は素晴らしい、今でも大好きです。お元気でこれからは描いて下さい。

世界初! 気エネルギー療法 気導術

痛みをすばやく取る技術がある

身体各部位の痛み即効解消
腰痛・ヘルニア・膝痛・腱鞘炎・肘痛・首肩こり・巻き爪・自律神経失調・五十肩・背中痛・生理痛・外反母趾

無言カウンセリング術
ストレス・うつ・悩み・恨み・悪い思い出・パニック障害・各種恐怖症(話すことなく頭の中から即効的に抜く)・学習能力アップ

免疫機能活性化で良くなる病気
アトピー性皮膚炎・花粉症・痛風・リュウマチ・セリソク

美顔エステ(整顔美容)
Precious Face Care(リフトアップ、30代・40代・50代以上の方に)・シミ・シワ・ニキビ跡・毛穴・顔・髪・スタイル調整

日本気導術学会 気導術師認定院

快生堂 TEL: 6575-4118

大阪府 港 磯路2-12-1 公園ビル109 http://www.mijikana.com/health3/

走れ! 風に向かって

港区たこあげ大会にぎわう

「手作り和風を新春の空へ」と二月十六日朝、八幡屋公園多目的広場で「港区たこあげ大会」が開かれ、小学生八十数人を含む約二百人が参加。一回目。(助)大阪府コミュニティ協会港区支部協議会が主催、港区青少年指導員連絡協議会と港区子ども会育成連合会が共催・協賛。

開会式では田端尚伸・港区長が、「①自分で作った風を自分で揚げることで物づくりに専ら心が養われる②大人と子供が一緒に楽しむことで世代間交流になる③各校下の子供らに参加することで地域間交流になる④区役所と民間組織が協力することで市民協働の場になる」とこの催しの意義を強調しました。

風向き変わる難条件、まず、子供たちが持ち寄った和風の出来栄を小学校区ごとに審査してもらった。品評会があり、その後飛びつり競技がありました。この日はよく晴れ渡った青空でしたが、風向きがくくく変わる難しいコンディション。思うように揚がらなず苦戦する様子も見られましたが、子供たちは「風に向かって走れ!」などの声援を受けながら元気に駆け回っていました。

会場の一角に設けられた「風の病院」には、糸の解けや尻尾のちぎれなど故障の風を抱えた子供らが次々と訪れ、日本の風の会大阪支部の濱中慶久幹事ら四人が、「糸はこう結ぶんや」などと教えながら、手早く修繕をこなしていました。

審査の結果、デザイン・飛翔・優秀の各賞(計二十四人)が決まりました。このうち四回目の参加で優秀賞に選ばれた篠原朱音ちゃん(磯路小一年)は、父親の努め(青少年指導員)のおかげで、子供たちは「風の美知恵さんと一緒にポケモン絵柄の風を眺めながら、作り方は八十点」飛びかかる正月恒例の行事で六回目。

「書を通じて地域のふれあいを」と二月二日朝、三先小と池島小の児童が授業で書いた「希望」の筆文字が何枚も展示され、清々しい墨の匂いが立ち込める社殿の大広間。十時過ぎ、瀬戸マヨ子さんが撮影

「冬休みの宿題を片付けたり、和紙が破れないように色を塗るのが難しかった。」「一年の抱負を筆で」という女性、「(この行事を伝える)港新聞を見て」という人たちなど、参加者は例年を上回り、筆が足りずにスタッフを慌てさせる一幕も。最年少は三歳の浅山莉子ちゃん(山下混入君(共に三先))。地域のみなさんに見守られながら、小さな手で筆を動かしていました。

こうして次々と書き上げられた書の一部は、一般の参詣者が「良縁」「家内安全」などと筆書きしたものや合せて、神前に奉納されました。

世話役の一人、瀬戸信行さん(池島2)は「緊張した面持ちで筆を走らせる家族を見てると、心が温まります。児童が書いたように、今年が「希望」の持てる年であることを願っています」と話していました。

「人生劇場」楽しみ
(田中2・67歳女性)

川島恵美子先生の「人生劇場」(6面)を楽しみにしています。平成六年ころ港近隣センター絵画教室で教えて頂き、その後は仕事の関係で通えなくなり、先生の話が、先生の描かれる風景画は素晴らしい、今でも大好きです。お元気でこれからは描いて下さい。

「人生劇場」楽しみ
(田中2・67歳女性)

川島恵美子先生の「人生劇場」(6面)を楽しみにしています。平成六年ころ港近隣センター絵画教室で教えて頂き、その後は仕事の関係で通えなくなり、先生の話が、先生の描かれる風景画は素晴らしい、今でも大好きです。お元気でこれからは描いて下さい。

来年度入所児募集(0、1、2才)

赤ちゃん遊んでいます!

みんなキラキラしています!

基準保育 9~16時(8~18時可)

保育料 収入や家庭事情により決定(市から補助あり)

♪ヴァイオリンのおけいこしませんか!

ひとみ 人見ベビーセンター

大阪市 港 磯路2-10-1

6574-3423 (東) 電話はPM4:30~